

【令和七年度 授業改善推進プラン】

板橋区立西台中学校

【国語】

■生徒の状況	・授業での学習内容を理解することは概ねできており、意欲的に取り組んでいる。 ・文法に関する問題や表現技法に関する内容、自分の考えを「記述」する学習活動を苦手とする生徒が多い。
■指導する上での課題	・「知識・技能」の内容について、文法や表現技法に関して授業では理解を示すが、その学力の定着に課題がある。 ・「読むこと」について、自分の考えをもちながら文章を読む活動を充実させる必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・学習内容を反復学習させるために、小テストの実施や一人一台端末を活用しながら学習に取り組む機会を増やす。 ・文章を掘り下げて読ませ、考えを深められるよう発問を増やす。一人一台端末などを活用しながら、考えにふれる機会を増やす。 ・様々な考えから気づきや自信が生まれるようにする。

【社会】

■生徒の状況	・学習した内容を知識として身に付けることができている生徒が一定数いる一方で、身に付けた知識と資料を結び付けたり、文章としてまとめることに課題がある。
■指導する上での課題	・資料の読み取りの際に、着目すべき点を明確にした指導を行う必要がある。 ・文章化させる問いの設定を行う必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・すららドリルなどを活用し、引き続き知識の定着を図る。 ・一人一台端末を活用し、学習した内容を文章としてまとめ、生徒同士で意見共有、交換させる。

【数学】

■生徒の状況	・多くの生徒が基礎的な知識や計算技能を概ね身に付けている。 ・文章を読み取り、数学的に表すことを苦手とする生徒が多い。
■指導する上での課題	・「思考・判断・表現」の観点において、文章を正しく読み取り数学的に捉えることや、考えた内容を式や文で表現する能力を身に付けさせる必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・学習活動の充実や小テストで基礎の定着を図る。 ・個人・グループでの学習時間を充実させ、自分で考え、共有し、理解を深められるようにする。 ・音読や一文一文に着目していくことで、文章から必要な情報を正しく読み取り、数学的に捉えることを意識し、文字や式で表すことができるようにする。

【理科】

■生徒の状況	・多くの生徒が日常生活と結びつけて主体的に学習に取り組むことができています。 ・計算などが絡んでくると理解度に差が生じやすい。
■指導する上での課題	・計算問題にはできる限り一人一人に時間をかけて指導していく。 ・思考力を向上するために、考察を行う時間などを多くとる必要がある。また、グループワークで意見共有をする時間を取り、表現力の向上にも繋げていく必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・難易度別の問題を用意するなど、自分に合った問題が解けるようにしていく。 ・実験では、予想→結果→考察の流れをしっかりと意識させ、レポート作成の時間をとる。

【音楽】

■生徒の状況	・多くの生徒が主体的・意欲的に学習に取り組んでいる。 ・少人数のグループ活動にも興味をもって取り組んでいる。
■指導する上での課題	・創意工夫して表現する力を身につける。 ・到達目標を理解して主体的に課題に取り組む力をつける。 ・フォームによる振り返り入力の習慣を定着させる。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・合唱活動では、T・Tのできる学年は場所を分けてパート練習を行うなど、授業の方法を工夫していく。 ・多様なジャンルの音楽を取り上げて、音楽を形作っている要素や構造と曲想との関わりを感じ取る活動を行う。 ・曲の特徴をつかむことができるよう、その背景となる風土や文化、歴史等と関連付けた指導を行う。

【美術】

■生徒の状況	・多くの生徒が表現活動に対して主体的に楽しく取り組んでいる。 ・グループでお互いの作品を見せ合ったり考えを共有し合ったりする活動についても積極的に取り組む生徒が多い。
■指導する上での課題	・自分の思いや考えをなんとなく作品にできても、それを意図的に表現したり、言語化したりすることが難しい場合がある。そのため、常に作品完成までの見通しをもたせたり、今行っている活動がどんなことに繋がっていくのかを確認しながら指導を行う。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・表現活動においては制作途中でお互いの作品を鑑賞し合ったり、鑑賞活動においてはお互いの考えや思いを共有し合ったり時間を設定し、自分の思いや考えを相手に伝える力を育む機会を設ける。

【保健体育】

■生徒の状況	・できる・できないによって生徒の取り組む姿勢に差がある。 ・安全に留意しつつ、意欲的に学習に取り組む生徒が多い。
■指導する上での課題	・男女によって活動に取り組む姿勢の差が大きい。特に能力に低い生徒ほど何もせずにいる事が多い。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・何のためにその運動をしているのかを理解できるように到達目標を掲示し、スキルテストや振り返り等によって学習の定着を確認していく。 ・タブレットを利用して、自身の動きを確認したり、動画等の教材を活用したりして効果的な学習を行う。 ・自己の課題解決に向け学習カード等を活用し、自身の活動を振り返り、その課題解決に向けて考える力を養う。

【技術・家庭】

■生徒の状況	【家庭】 ・多くの生徒は、学習内容を自分の日常生活と結びつけて理解しようとする姿勢があり、主体的に取り組むことができている。 ・実習授業と座学の授業では学習意欲に差が見られ、特に座学においては意欲が低下する傾向がある。 【技術】 ・多くの生徒が主体的・意欲的に学習に取り組んでいる。 ・指示を理解し、安全に配慮して作業を行うことができている。
■指導する上での課題	【家庭】 ・生徒の実生活と学習内容を結びつけるような発問を意識し、生徒の興味・関心を引き出す。 【技術】 ・課題解決に向けて見通しを立て、丁寧に粘り強く取り組む力を身につける。 ・スモールステップで課題を乗り越え、着実に知識・技能を習得する。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	【家庭】 ・到達目標と振り返りを毎時間実施し、学習の定着を図る。 ・授業の振り返りを自分の言葉で書き、自分の学習課題を明確にするよう指導する。 【技術】 ・学習の流れを理解できるようにわかりやすく提示する。 ・タブレットを利用し、映像や画像を活用して学習の見通しをもたせる。 ・タブレットを利用し、製作の流れや実技の様子を客観的に振り返り、自己評価ができるようにする。

【外国語】

■生徒の状況	・多くの生徒が到達目標を意識しながら、学習内容の見通しをもって、主体的に授業に取り組んでいる。 ・授業中に学習したこと・理解したことが、十分定着していない生徒がいる。
■指導する上での課題	・予習・復習の習慣化し、既習内容の定着を図る。 ・音読及び反復練習を積み重ね、自己表現力の向上を図る。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・授業の振り返りを自分の言葉で書き、自分の学習課題を明確にするよう指導する。 ・ペア学習やグループ学習を通してコミュニケーション力を育み、主体的な言語活動に結びつくよう指導する。 ・ノート作成やデジタル教科書を活用した学習の手立てを示し、家庭学習を支援する。

【総合的な学習の時間】

■生徒の状況	・自らの課題に対して調べたり、発表したりする活動に意欲的に取り組んでいる。
■指導する上での課題	・自らの課題を調べる力は高いが、探究心をもって考えを深めようとする姿勢を伸ばしたい。 ・学習をわかりやすく伝えるために、創意工夫し、より良い発表に向けて高めていこうとする姿勢を育てたい。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・3年間の学習の繋がりをもたせる指導計画を立てる。一人一人に興味・関心をもたせ、主体的に課題を設定し、課題解決に向かわせる学習活動を、3年間の見通しをもたせて実施していく。 ・自らの生き方に関わる職業調べや進路学習など、自分自身にとって密接な課題を取り上げることで、学習内容への興味・関心を高め、3年間を通して自ら学んでいく姿勢を養う。 ・学習の発表を振り返らせることで、より良い発表の創意工夫に気づかせ、互いに学び、高め合えるようにする。

【特別の教科道徳】

■生徒の状況	・さまざまな内容項目に対して、ワークシートを用いて自分の考えをまとめたり、他者と意見を共有したりしながら、テーマについて意欲的に考えている。
■指導する上での課題	・自分の内面を改めて見つめ直し、自分のものの見方や価値観を広げ、自分とは違う考え方も受容できる態度を育てたい。 ・自分の考えを深め、より掘り下げて考えようとする態度を伸ばしたい。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・意見共有の活動を通して多様な価値観にふれさせ、自分の価値観や捉え方を掘り下げることができるよう、展開や発問を工夫する。 ・自分の内面の変化を見つめられるような発問や振り返りを実践する。